

報道関係者各位

株式会社ネッツ
2009年3月16日

プロセス間通信の開発コストを1/10にできる 異機種間通信ミドルウェア「Sebrio®（セブリオ）」

OneOne パッケージ販売開始

株式会社ネッツ（本社：東京都国分寺市、代表取締役：高田 浩一）は、2009年4月1日より異機種間通信ミドルウェア「Sebrio（セブリオ）」の OneOne パッケージの販売を開始します。

■ OneOne パッケージの概要

この度、ネッツでは当初より販売していた Sebrio の Windows 版、Linux 版、UNIX 版に加え、お客様からのご要望にお答えし、異なる OS の製品を1ライセンスずつ組み合わせたパッケージとして OneOne パッケージの発売を決定しました。

■ 製品の概要

Sebrio は、Windows、Linux、UNIX に対応した通信ミドルウェアです。プロセス間通信に必要な機能をフル搭載し、様々なシステム要件に柔軟に対応できる特徴を持っています。

Sebrio を導入することにより、各機能間の通信コンポーネントの開発に力を注ぐことなく、本来のシステム機能に力を注ぐことで開発期間や人件費を含めて開発コストを削減できます。

システムやプロセスからは、標準提供される開発 API を呼び出すことで C 言語や VisualC++、VisualBasic、C# などからこれらの機能を利用できます。

また、標準提供される操作コマンドを呼び出すことで Perl、PHP、Ruby、UNIX シェルなどのスクリプト言語からもこれらの機能を利用できます。

異なる OS、異なる言語を超えて連携が可能となる通信ミドルウェアです。

■ 主な機能

● メッセージ転送機能

リアルタイム型のメッセージ転送を行う機能です。

● メッセージキュー機能

蓄積型のメッセージ転送を行う機能です。また、Windows の MSMQ との連携も可能です。

● ファイル転送機能

任意のファイルやフォルダを転送する機能です。任意のスケジュールでの自動転送も可能です。また、障害復旧、帯域制限、優先度転送などの機能も搭載しています。

● イベント通知機能

LinuxやUNIX、WindowsからWindowsのイベントログに対して書き込みを行う機能です。

● 状態監視機能

Sebrío間の接続状態や、マシンのCPU及びメモリなどの情報を取得する機能です。

■ 製品価格

Windows版(2ライセンス込)	:	198,000円
Linux版(2ライセンス込)	:	248,000円
Solaris(X86)版(2ライセンス込)	:	298,000円
Solaris(SPARC)版(2ライセンス込)	:	298,000円
OneOneパッケージ(W and L)	:	302,000円
OneOneパッケージ(W and S(x86))	:	336,000円
OneOneパッケージ(W and S(SPARC))	:	336,000円
OneOneパッケージ(L and S(x86))	:	370,000円
OneOneパッケージ(L and S(SPARC))	:	370,000円
OneOneパッケージ(S(x86) and S(SPARC))	:	404,000円

※ WはWindows、LはLinux、SはSolarisを表しています。

※ 上記価格には消費税は含まれておりません。

■ 本製品に関する詳細情報

<http://sebrío.jp/>

【株式会社ネッツについて】

社名：株式会社ネッツ

本社：〒185-0021 東京都国分寺市南町3-22-27 第2浜仲ビル

設立：1991年9月

代表者：高田 浩一（代表取締役）

HP：<http://www.nets-web.co.jp/>

<本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ネッツ 製品開発・販売グループ（畠田・羽嶋）

TEL：042-326-7373

メール：info@sebrío.jp

製品HP：<http://sebrío.jp/>